

国立歴史民俗博物館 研究報告 第29集

共同研究「動物考古学の基礎的研究」

共同研究「動物考古学の基礎的研究」について	西本 豊弘
動物考古学の現状と課題	西本 豊弘
考古学における動物遺存体の研究の歩み	松井 章
魚類遺存体の組成復原にかかわる資料採集法について	小宮 孟
動物遺体個体別分析の諸問題	平口 哲夫
日本犬に見られる時代的形態変化	茂原 信生
鹿角の年齢査定を試み	大塚 裕之
愛知県伊川津遺跡出土ニホンイノシシの 年齢及び死亡時期査定について	新美 倫子
哺乳類遺存体に残された解体痕の研究	本郷 一美
貝層の堆積季節を利用した生業季節スケジュールの 復元方法とその意義	樋泉 岳二
イオン電極を用いた骨中のフッ素の定量	松浦 秀治
東北地方における縄文時代貝塚の研究	須藤 隆
今再び『貝塚に学ぶ』	中村 若枝
鳥浜貝塚出土（1985年度調査）の哺乳類遺存体	茂原 信生
	本郷 一美
	網谷 克彦

研究会の記録

平成3年3月

国立歴史民俗博物館

研究報告

第29集 共同研究「動物考古学の基礎的研究」

*目次

共同研究「動物考古学の基礎的研究」について……………	西本 豊弘	1
動物考古学の現状と課題……………	西本 豊弘	3
考古学における動物遺存体の研究の歩み……………	松井 章	13
——西ヨーロッパ，北アメリカを中心として——		
魚類遺存体の組成復原にかかわる資料採集法について……………	小宮 孟	45
動物遺体個体別分析の諸問題……………	平口 哲夫	61
——真脇遺跡出土イルカ上腕骨のペアリングを中心に——		
日本犬に見られる時代的形態変化……………	茂原 信生	89
鹿角の年齢査定の試み……………	大塚 裕之	109
——瀬戸内海産の更新世化石シカを例にして——		
愛知県伊川津遺跡出土ニホンイノシシの年齢及び死亡時期査定について…	新美 倫子	123
哺乳類遺存体に残された解体痕の研究……………	本郷 一美	149
——鳥浜貝塚85区出土の獣骨をとおして——		
貝層の堆積季節を利用した生業季節スケジュールの復元方法とその意義…	樋泉 岳二	197
——事例分析：伊川津貝塚における漁撈活動の季節性——		
イオン電極を用いた骨中のフッ素の定量……………	松浦 秀治	235
東北地方における縄文時代貝塚の研究……………	須藤 隆	245
今再び『貝塚に学ぶ』……………	中村 若枝	299
——貝塚研究の方向性に関する素描——		
鳥浜貝塚出土（1985年度調査）の哺乳類遺存体……………	茂原 信生	329
	本郷 一美	
	網谷 克彦	
研究会の記録……………		359

平成3年3月

**Bulletin of
the National Museum of
Japanese History**

vol. 29 Joint Study on
The Fundamental Study of Zoo-archaeology

Contents:

NISHIMOTO, T.	Preface	1
NISHIMOTO, T.	The Situation and Tasks of Zoo-archaeology	3
MATSUI, A.	Advanced in Faunal Analysis for Archaeology.....	13
KOMIYA, H.	The Influence of Sampling Methods on the Reconstruction of Fish Remains from Archaeological Sites.....	45
HIRAGUCHI, T.	An Individual Identification Analysis of Animal Remains	61
SHIGEHARA, N.	Shape Changes by Era in the Japanese Dog	89
OTSUKA, H.	A Trial to Estimate the Approximate Age of Deer Using Antlers	109
NIIMI, M.	Determination of the Age and Mortal Season of Wild Boars Excavated from Ikawazu Site, Aichi.....	123
HONGO, H.	A Study of Butchery Marks Left on Faunal Remains of the Early Jomon Period	149
TOIZUMI, T.	A Method of Seasonality Estimation Based on Seasonal Cycle of Refuse Deposition Observed in the Shell Middens.....	197
MATSUURA, S.	Fluorine Determination in Bone Using an Ion-Selective Electrode...	235
SUDOU, T.	Shell Mound Research of Jomon Era in the Northeastern Region	245
NAKAMURA, W.	Once Again We Learn from the Shell Mounds	299
SHIGEHARA, N. HONGO, H. AMITANI, K.	Mammal Remains from the 1985 Excavation of the Torihama Shell Mound.....	329
	A Record of Research Group.....	359

Mar. 1991

国立歴史民俗博物館研究報告寄稿要項

1. 国立歴史民俗博物館研究報告は、歴史学、考古学、民俗学およびそれらの協業による広義の歴史学ならびにそれらと関連する諸科学に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
2. 国立歴史民俗博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立歴史民俗博物館（以下「本館」という）の教官（客員教授等を含む）および本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員および研究協力者等
 - (3) その他本館において適当と認めた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立歴史民俗博物館研究委員会（以下「研究委員会」という）において行う。
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語を原則とする。ただし、他の言語を用いる場合は、研究委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、研究委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿には、原則として英文により400語程度の要旨を付けるか、あるいは英訳用の和文800字以内の要旨を付けるものとする。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、研究委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書し、原稿の写し1部を添付するものとする。
9. 寄稿された原稿は、研究委員会において検討のうえ、採否を決定する。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の寄稿先および連絡先は、次のとおりとする。

〒285 佐倉市城内町117番地 国立歴史民俗博物館内
国立歴史民俗博物館研究委員会（電話 代表 0434-86-0123）

国立歴史民俗博物館研究報告 第29集

平成3年3月23日 印刷
平成3年3月30日 発行 （非売品）

編集・発行 国立歴史民俗博物館
〒285 千葉県佐倉市城内町117
電話 0434-86-0123(代表)

印刷 第一法規出版株式会社
〒107 東京都港区南青山2-11-17
電話 03-3404-2251(代表)

Bulletin of the National Museum of Japanese History

vol. 29

Joint Study on The Fundamental
Study of Zoo-archaeology

- NISHIMOTO, T. Preface
- NISHIMOTO, T. The Situation and Tasks of Zoo-archaeology
- MATUI, A. Advances in Faunal Analysis for Archaeology
- KOMIYA, H. The Influence of Sampling Methods on the Reconstruction of Fish Remains from Archaeological Sites
- HIRAGUCHI, T. An Individual Identification Analysis of Animal Remains
- SHIGEHARA, N. Shape Changes by Era in the Japanese Dog
- OTSUKA, H. A Trial to Estimate the Approximate Age of Deer Using Antlers
- NIIMI, M. Determination of the Age and Mortal Season of Wild Boars Excavated from Ikawazu Site, Aichi
- HONGŌ, H. A Study of Butchery Marks Left on Faunal Remains of the Early Jomon Period
- TOIZUMI, T. A Method of Seasonality Estimation Based on Seasonal Cycle of Refuse Deposition Observed in the Shell Middens
- MATSUURA, S. Fluorine Determination in Bone Using an Ion-Selective Electrode
- SUDOU, T. Shell Mound Research of Jomon Era in the Northeastern Region
- NAKAMURA, W. Once Again We Learn from the Shell Mounds
- SHIGEHARA, N. HONGŌ, H. AMITANI, K. Mammal Remains from the 1985 Excavation of the Torihama Shell Mound

A Record of Research Group

Mar. 1991